2015 年 12 月 28 日「特別メッセージ No.37」　徳野英治会長

本日は、陽暦で今年最後の礼拝でした。内容は、徳野会長による特別メッセージの視聴と、石川教会長のお話でした。以下、「徳野会長特別メッセージ」の全文を掲載いたします。

「徳野会長特別メッセージ」

◆◆　日韓米指導者 ラスベガスツアーの恩恵　◆◆

［Ｉ］今回のラスベガスツアーの恩恵

2015 年 12 月、米国・ラスベガスの「国際平和教育院（IPEC、ピースパレス)」で行われた、超宗教活動の 20 周年記念大会と日韓米指導者集会に参加し、大きな恩恵を受けました。その内容について、大きく 3 つの柱でお伝えします。第一の柱として、今回のラスベガスツアーの恩恵について、5 つのポイントで紹介します。

①摂理史における女性の役割の重要性

第 1 のポイントは、摂理歴史の主役を、今や女性が担う時代になってきていることです。韓国やスイス、ブラジル、ドイツ、チリ、クロアチア、ネパールなど多くの国々の大統領や首相、FRB 議長など、現在、たくさんの要職を女性が務めています。世界の表舞台で女性が活躍する時代圏を迎え、真のお母様は、女性の役割の重要性を強調されながら、天一国を安着、安住させなければならないと指摘されました。「安」という字は「家を守る女性」という意味になります。

②全世界に「真の父母様の御聖誕日」を宣布

第 2 に、真の父母様の御聖誕日を、全世界、全人類に宣布していくことの重要性を強調されました。

「イエス様の聖誕を世界の人々が知っているように、真の父母様の聖誕を、70 億の人類に伝えなければなりません。それが祝福家庭の責任であり、使命です」とお母様はおっしゃいます。「真のお父様と真のお母様の誕生日が同じであること自体、神秘的であり、摂理的な現象です」と語られ、真のクリスマスのテーマソングを世界的に募集することになりました。

③洪一植・鮮鶴平和賞委員長がインドとネパールを訪問、「孝」の道

第 3 として、真のお母様の願いを受けて、洪一植・鮮鶴平和賞委員会委員長がインドとネパールを訪問した際、それぞれ国家レベルで歓迎されたそうです。要人たちに対して洪委員長は、鮮鶴平和賞の意義を説明するなど、孝の精神に立ち、父母様の世界的業績を証ししました。

また、韓国で「元老会」という組織を立ち上げ、先輩家庭たちが、「残りの生涯を神氏族メシヤの勝利のために全力投入し、父母様の前に孝の道を歩みます」と誓ったと伺いました。

④天と後孫の前に誇れる実績を立てる

第 4 に、このたびお母様は、次のようなみ言で私たちを激励してくださいました。

「天と後孫の前に、私はこれを成し遂げましたと誇れるような実績を立てなければなりません。それをもって地上生活を終えるのです」

⑤お母様が好まれる歌詞

第 5 に、日韓米の指導者たちが歌で競い合う和動会があり、日本のメンバーは、お母様が好まれる歌詞をもつ韓国の歌を 3 曲披露し、お母様に喜んでいただきました。そのうちの 1 曲は「欲心を一つ捨てれば、むしろ喜びの花が咲く」という内容です。お母様は「欲心を捨て、自分をなくして、天に委ねながら歩むなら、むしろ感謝と喜びの花が咲くのです」とおっしゃいます。

[Ⅱ]お母様が強調される 3 つのポイント

第二の大きな柱として、最近、真のお母様が強調される 3 つのポイントをお伝えします。

①真の父母様との心情一体を、さらに深める

第 1 のポイントとして、お母様は、真の父母様との心情一体化の重要性を強調され、次のようにおっしゃいます。「天の運勢の中心は真の父母です。その真の父母と一つになれば、天運を相続することができ、不可能なことはないのです」

②神氏族メシヤの使命完遂

第 2 に、神氏族メシヤの使命を果たすことです。

お父様のみ言によれば、天一国の本質は真の父母です。また、天一国の主人は祝福家庭であり、天一国の真の主人は、神氏族メシヤの使命を勝利した祝福家庭です。私たち祝福家庭は、神氏族メシヤを勝利してこそ、天一国の真の主人となることができるのです。

③救国救世基盤の造成

第 3 のポイントが、救国救世基盤の造成です。

天一国を立てるために神氏族メシヤを勝利し、救国救世基盤の造成を実質的に推進していかなければなりません。その出発点は真の父母様との心情一体化です。

[Ⅲ]お母様が強調される 3 つの教訓

第三の大きなテーマとして、お母様が強調される、3 つの重要な教訓をお伝えします。

①私心を捨て、天の父母様（神様）に近づく

第 1 の教訓として、前述のお母様が好まれる歌詞のように、私心や欲心をなくすことが、天の父母様に近づく唯一の道です。聖書に記されているように、幼子のような心をもたなければ天国に入ることはできません。

②絶えず感謝しなさい

第 2 の教訓として、「絶えず感謝しなさい」ということです。今日まで天は、私たちを導いてくださっています。そのことに心から感謝し、喜びをもつことです。いかなる困難が訪れても、感謝で乗り越えていくことが信仰生活のポイントであることを、お母様は教えてくださいます。

③健康管理に努める

第 3 の教訓は、健康管理です。お母様ご自身、次のように語られながら健康管理に努め

ておられます。
「私には、まだやるべきことがたくさんあります。今、霊界に行くことはできないので、自らの健康管理に努力しているのです」　私たちに対してもお母様は、地上で最善を尽くして共に天一国を実現するために、健康管理に努めるよう指導してくださいます。